浄化槽工事の基準・実績報告書の添付写真について

補助金を受けるためには、下記の工事の基準を満たし、以下の方法で撮影した写真を実績報告書に添付していただく必要があります。

[工事の基準]

・「浄化槽法第４条第５項の規定による浄化槽工事の技術上の基準」に基づいて工事を行うこと。

・労働安全衛生法を遵守し、工事中の安全を確保すること。

・コンクリートの打設は、所要の強度になるように適切な養生期間をとること。
尚、品質及び施工方法については「国土交通省 公共建築工事標準仕様書」等を参考とすること。

・浄化槽の基礎等の厚さは、下記を参考とすること。

基礎等の厚さ（10 人槽以下）

砕石		100mm 以上
捨てコンクリート		50mm 以上
鉄筋	配筋	D10@200mm
コンクリート	コンクリート厚	100mm 以上

※基礎等の厚さは浄化槽メーカーの施工要領書に準ずる
※既成底盤コンクリート（プレキャスト）を使用する場合、捨てコンクリートの打設は不要ですが設置後に水平が保てるよう施工してください。

・ポンプアップを必要とする場合は２台以上設置し、交互に切替運転ができるようにするほか、運転中のポンプが故障した場合、他のポンプに自動的に切替できる構造とすること。

・浄化槽の上を駐車場にする場合は、各メーカーの施工要領書・仕様書・構造図・配筋図等によるものとする。

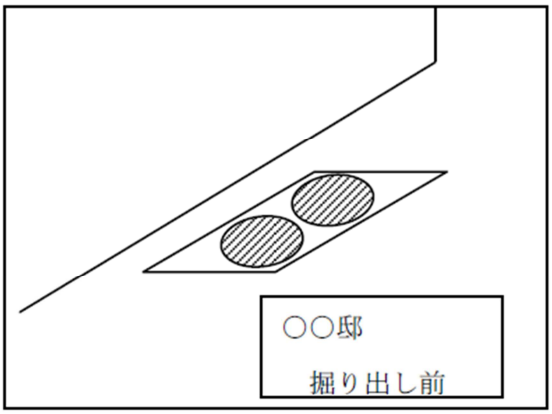
・

[添付写真の撮り方]

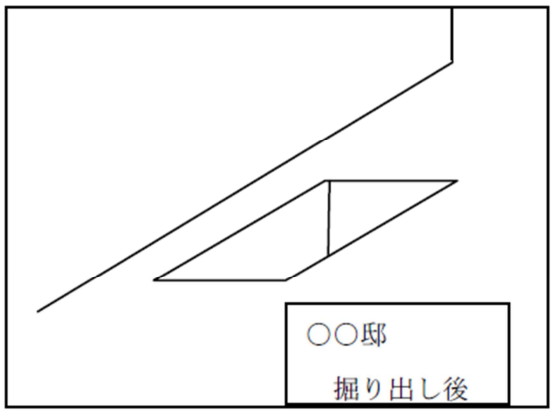
・以下の説明は添付写真の撮り方の一例です。工程がわかるように、必要に応じて複数枚撮影してください。※写真に不備がある場合、補助金が交付できないこともあります。
・測定値を黒板等に記入し、撮影してください。
・スケールや水平等の目盛りがはっきり読み取れるように撮影してください。

（単独処理浄化槽又はくみとり槽の撤去工事写真）

（１） 既設単独処理浄化槽(くみ取り槽)掘り出し前

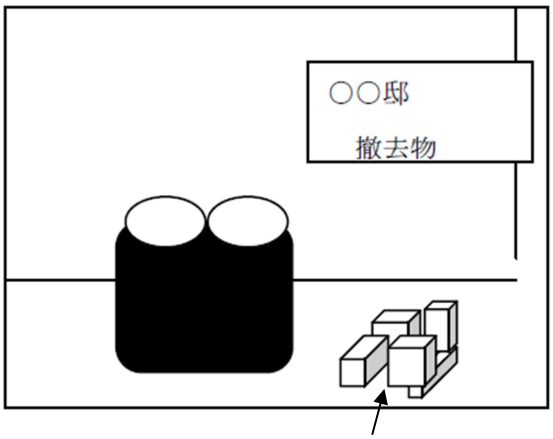


（２） 掘り出し後



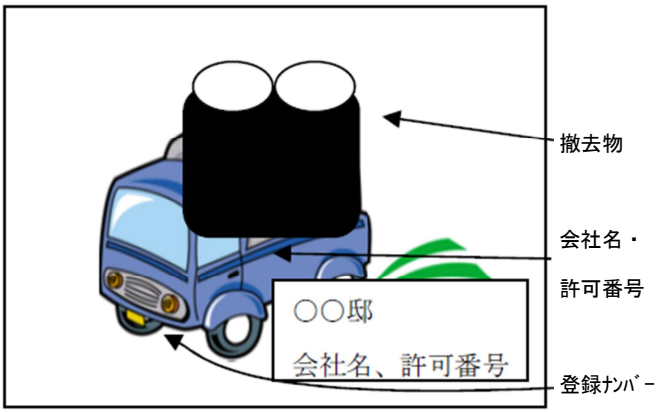
（３） 撤去物

廃棄物運搬車の表示義務が確認できる写真

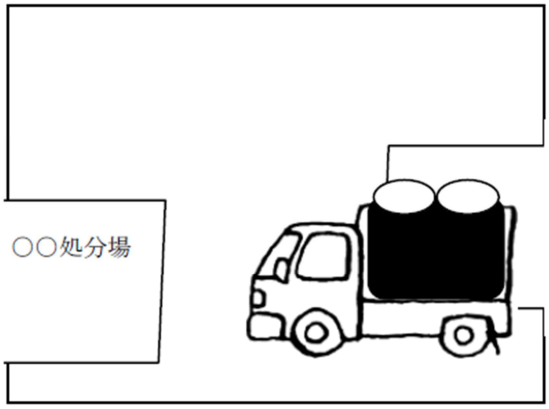


ｺﾝｸﾘｰﾄｶﾞﾗ

（４）



（５） 中間処分場への搬入・荷下ろし



（雨水貯留槽等への改造工事写真）

（１）既設の単独処理浄化槽又はくみとり槽の
　　埋設状況
（２）雨水貯留槽等への改造を確認できる写真
　　※配管、工事の工程が分かるように撮影

合併処理浄化槽の設置工事写真

（１）着工前

浄化槽工事業者登録票
又は浄化槽工事業者届出済票

40cm以上

35cm 以上

浄化槽工事業者登録票	
氏名又は名称	
代表者の氏名	
登録番号	知事（登　　）第　　号
登録年月日	年　　月　　日
浄化槽設備士の氏名	

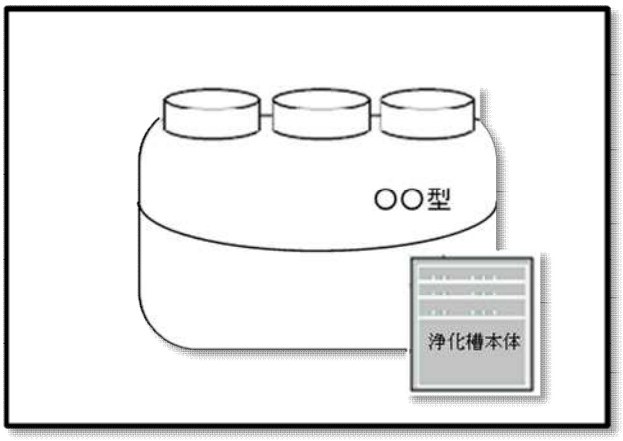
【法第30条】別記様式第8号（第9条）

浄化槽工事業者届出済票	
氏名又は名称	
代表者の氏名	
届出番号	知事（登　　）第　　号
届出年月日	年　　月　　日
浄化槽設備士の氏名	

【法第33条第2項】別記様式第9号（第9条）

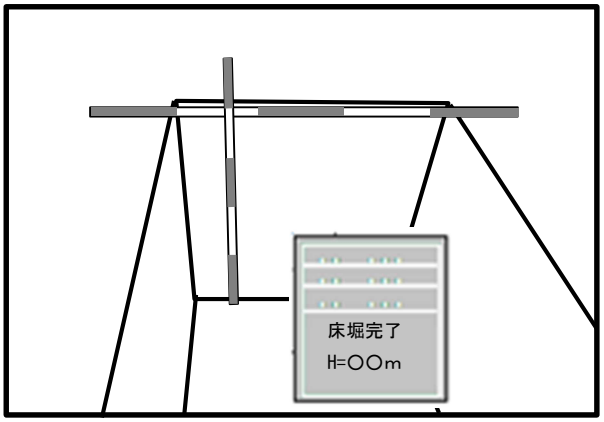
- 浄化槽設備士が標識板を掲げ、設置予定場所を撮影する。
- 周辺状況（地面・背景）、標識板を明確に撮影する。

（２）浄化槽本体



- 設置する合併処理浄化槽の型式がわかるように撮影する。

（３）床堀工



- スケール等で掘削深を測定し、高さが確認できるように撮影する。

  ※GL（計画高）からの下がりで管理する

  （床堀工～基礎工～埋戻し工まで）

（４）基礎砕石

・ スケール等で仕上がり面までの高さが確認できるように撮影する。

・ 基礎砕石等の仕上がり厚さが確認できるように撮影する。（※厚さｔ＝100㎜ 以上）

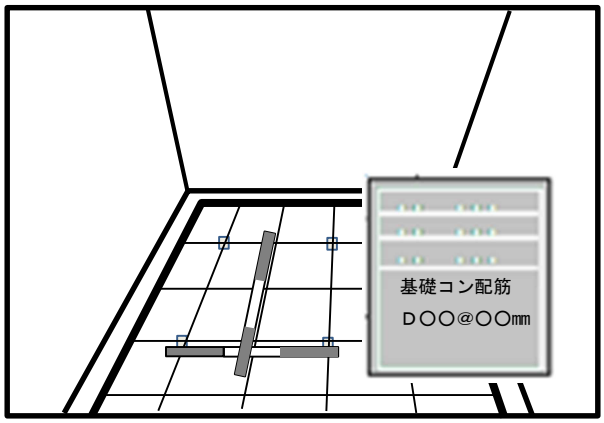
・ 適切な転圧が確認できるように撮影する。

（５）捨てコンクリート打設状況

・ スケール等で仕上がり面までの高さが確認できるように撮影する。

・ 捨てコンの仕上がり厚さが確認できるように撮影する。（※厚さｔ＝50㎜ 以上）

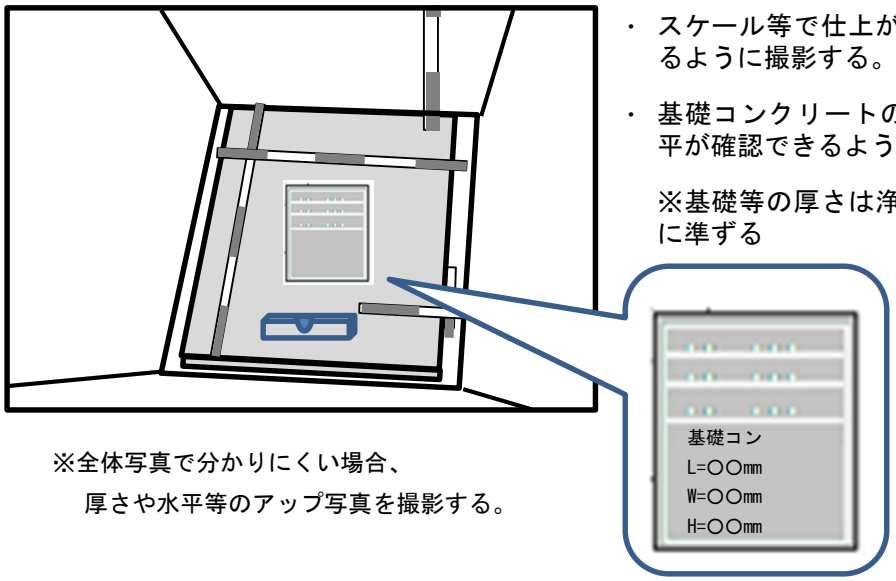
（６）基礎コンクリート配筋状況



・ スペーサーの設置が確認できるように撮影する。

・ 鉄筋の間隔がスケール等で確認できるように撮影する。（※鉄筋の間隔 D-10@200）

（７）基礎コンクリート（養生後）



※全体写真で分かりにくい場合、
厚さや水平等のアップ写真を撮影する。

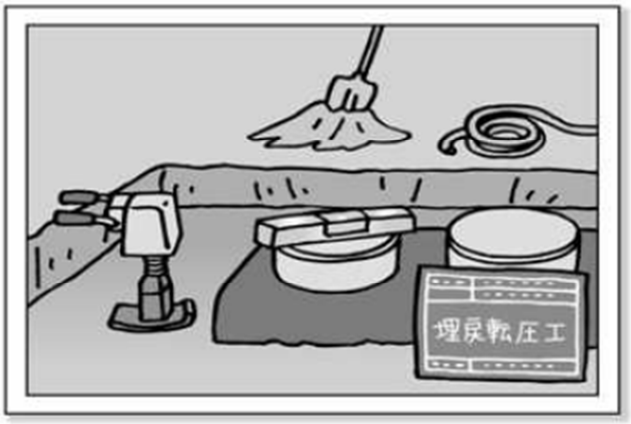
・ スケール等で仕上がり面までの高さが確認できるように撮影する。

・ 基礎コンクリートの仕上がり長さ･幅･厚さ･水平が確認できるように撮影する。

※基礎等の厚さは浄化槽メーカーの施工要領書に準ずる

※プレキャスト板使用の場合も同様に、長さ･幅･厚さが確認できるように撮影するとともに、設置後の水平部分も撮影する。

（８）浄化槽の据付・埋戻し状況

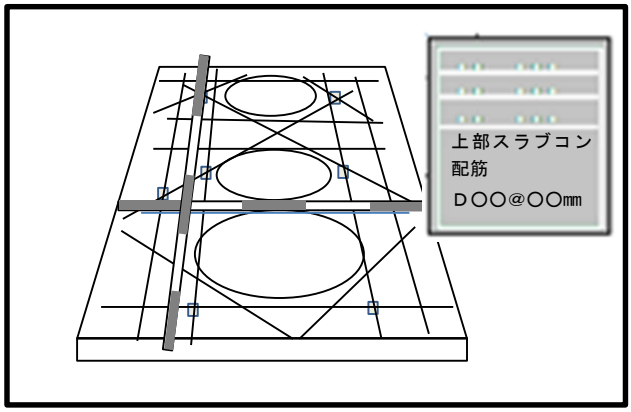


・ 水張り状況が確認できるように撮影する。

・ 据付作業中に本体の水平が確認できるように撮影する。

・ 良質土での水締め、適切な転圧が確認できるように撮影する。

（９）上部スラブコンクリート配筋状況

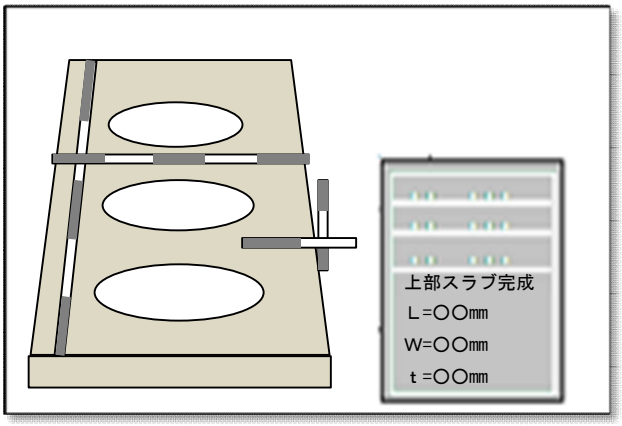


・ スペーサーの設置が確認できるように撮影する。

・ 鉄筋の間隔がスケール等で確認できるように撮影する。

※補強として斜め配筋（D-10）を入れる。

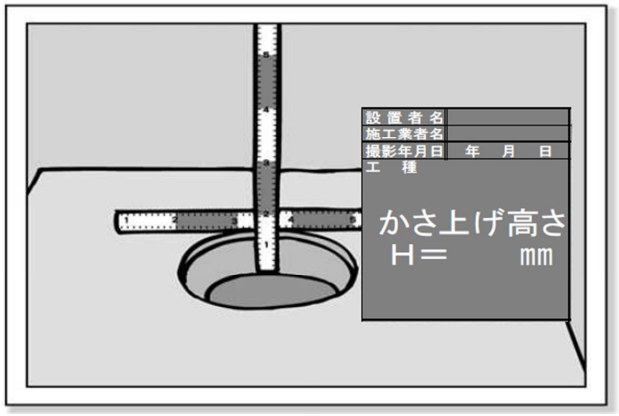
（１０） 完成



・ スラブコンクリートの仕上がり長さ・幅・厚さがスケール等で確認できるように撮影する。

（厚さ t＝100mm 以上）

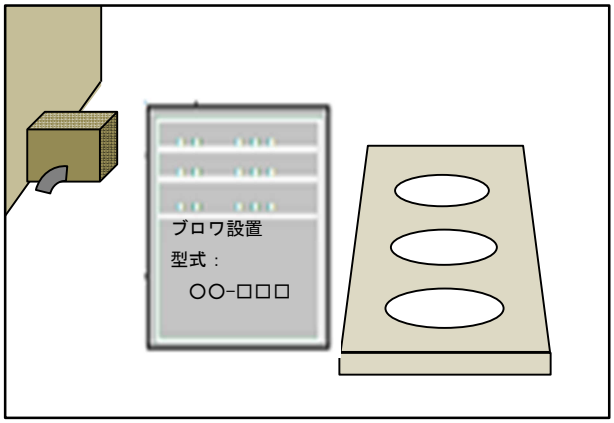
（１１） マンホール蓋の嵩上げ状況



・ スケール等で嵩上げ高さが確認できるように撮影する。

（※嵩上げの高さは 300mm以内）

（１２）ブロワーの設置状況



・ 設置状況が確認できるように撮影する。

・ ブロワーの消費電力がわかる部分も撮影する。

※ 下表の基準以下であることを確認してください。

消費電力基準　　単位W/h

人槽	通常型	BOD 10mg/L以下	りん除去型
5人槽	39	53	83
7人槽	55	75	90
10人槽	75	102	157

（１３）その他の写真

○配管の位置が竣工図と照合できる写真

○放流状況の確認できる写真（浸透ます及び側溝等に接続が確認できる写真）

○駐車場仕様にする場合
　各メーカーの施工要領書、仕様書、構造図、配筋図等により工事が適切に行われたことが確認できる写真

○ポンプアップが必要な場合
　２台以上のポンプが設置されていることが確認できる写真